

顎変形症の手術を受けられる方へ

長野赤十字病院(以下、当院)での顎変形症の手術を希望されている方に、手術までの流れと大切な注意事項をまとめましたので、当院から電話を差し上げる前にご確認ください。

■ 今後の流れ

手術の準備が整うと、矯正歯科医院から当院へ手術依頼のFAXが届く



長野赤十字病院から患者さんに電話連絡する
(直近の診察予約を取得、手術日の仮決定)



長野赤十字病院に受診し、手術までのスケジュールを決める



手術前1ヶ月の間に長野赤十字病院に2回(もしくは3回)受診する
各種検査、処置、入院手続き、手術の説明などを行う



入院



手術(入院2日目)



退院(入院12日目)



退院後の通院

(退院から1週、2週、1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月後)

■ 当院からの連絡について

かかりつけの矯正歯科医院から当院へ手術依頼の FAX が届きましたら、
内容を確認の上、当院から患者さんへ電話いたします。

その際には以下の 2 点を決定しますので、事前に手術希望日を複数ご検討の上お
待ちください。

1. 手術日の仮予約
 2. 直近の受診日
(手術に向けた検査日程などを決め、必要な検査を受けていただきます)
-

■ 入院と手術日について

- ・ 手術のための入院期間は 12 日間です。
- ・ 手術は通常、火曜日または金曜日に行っております。できれば火曜日の手術をおすすめしています。
- ・ 手術の前日に入院していただきます。

例： 4 月 1 日(月)入院 → 4 月 2 日(火)手術 → 4 月 12 日(金)退院

6 月 1 日(木)入院 → 6 月 2 日(金)手術 → 6 月 12 日(月)退院

■ 術前の受診スケジュール

- ・ 手術前の 1 ヶ月以内に 2 回、当院への受診が必要です。
 - ・ いずれも半日お時間がかかります。(午前 9 時から 13 時頃まで もしくは 12 時から 17 時頃まで)
 - ・ 受診回数を 2 回に抑えるために各種検査、処置、入院手続き、説明などをできるだけまとめて行っていますので、日程はご希望に添えないことが多いです。
 - ・ 2 回の受診の都合があわない場合は、手術日の延期をご検討ください。
 - ・ 手術説明の際にはキーパーソンの方にも同席をお願いしています。
-

■ 遠方にお住まいの患者さんへ

- 「直近の受診」は、ご家族の代理受診が可能です。
 - ただし、「直近の受診」の際には**ご家族の方が患者さんご本人の予定を確実に把握したうえで**お越しください。この受診では、手術前に必要な複数の受診日を一緒に決めていきます。そのため、「本人に確認しないと予定がわかりません」といったことがないように、あらかじめご準備をお願いいたします。
 - 「直近の受診」の際に術前の受診日が決められない場合、手術日を変更させていただくことがあります。
 - 通常、術前の受診回数は2回ですが、「直近の受診」にご家族が代理受診された場合は**ご本人の術前の受診回数が3回に増える**可能性があります。
-

■ 退院時の状態について

- **顔の腫れ**や、**顔・首の内出血（皮膚に紫や黄色の痕）**が残っていることがあります。内出血は退院後1～2週間で改善します。手術直後に生じた顔の強い腫れは退院時には軽快していますが、完全に改善するには数ヶ月を要します。
 - **痛み**は、ほとんどの方が鎮痛薬を使わずに過ごせます。
 - **食事**は術後2ヶ月間、できるだけ柔らかいものをお取りください。
 - **会話**は可能ですが、口が開きにくいと話しづらさがあります。
 - **運動**は可能ですが手術を行った部分に強い力がかかると骨の固定がずれて再手術が必要になることがありますのでお気をつけください。
-

■ 退院後の通院について

- 通常、退院後**1週間・2週間・1ヶ月・3ヶ月・6ヶ月**後に外来受診があります。
 - 経過によっては受診回数が増えることがあります。
-

■ 手術の際の輸血について

輸血とはけがや手術などで血液が足りなくなったときに、他の人の血液や自分の血液を体に入れて補う治療です。輸血には以下の2種類があります。

①同種血輸血(どうしゅけつゆけつ)

他の人の血液を使う輸血です。献血で集めた血液を使います。血液型をしっかりと確認して、合う血液だけを使います。他人の血なので、感染症やアレルギーのリスクが少しあります。また、他の人の血を使う輸血では、ごくまれに体の中で「抗体」という物質ができることがあります。これは、体が自分と違う血液に反応する自然な防御反応です。抗体ができると、将来の輸血で合う血液を探すのが難しくなることがあります。

②自己血輸血(じこけつゆけつ)

自分の血液をあらかじめ採取しておいて使う輸血です。(言い換えれば自分のための献血です)できれば手術前に400ml取って保存しておきます。他人の血を使わないので、安全性が高く、拒絶反応ありません。針を刺した部分の痛みや痺れ、採取後に気分が悪くなること、血圧が下がることがまれにあります。

今回の手術は待機的で手術までに自己血を準備する時間がしっかりあり、感染症やアレルギー、抗体などのリスクを避けるため、②自己血輸血をお勧めします。自己血を採取することに不安がある方、採取を希望されない方は必要時に①同種血輸血(他人の血液)で対応することになります。①同種血輸血、②自己血輸血どちらを希望されるかよく考えておいてください。

■ ワクチン接種に関する注意事項

- インフルエンザや新型コロナウイルスなどのワクチン接種は、手術前後2週間(生ワクチンは4週間)は控えてください。
-

■ 低用量ピルを服用中の女性の方へ

- 一部の低用量ピルは、全身麻酔時に血栓症のリスクを高めることがあります。
- 手術のスケジュールに影響しますので、服用中の方は、速やかに歯科口腔外科の主治医にご申告ください。

■ 安全・安心な医療の提供体制について

日本顎変形症学会は顎変形症治療の医療水準の高揚と次世代人材の育成を図り、国民の健康に貢献していくために設立された学会です。当学会では認定医制度を設けています。わかりやすく説明すれば、どの医療機関、どの歯科医師に受診すれば安全・安心な治療を受けられるかの一つの指標になっています。

当院は北信・東信地域で日本顎変形症学会の認定医・指導医が在籍している唯一の施設です。(2025年5月現在)

学会ホームページ <https://jaw-deform.jp/nintei.html>



ご不明な点がございましたら、担当医またはスタッフまでお気軽にご相談ください。

長野赤十字病院 歯科口腔外科